

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立育精福祉センター成人寮
 所管課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成25年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		H25.4.1	～	H30.3.31	5年	
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		H30.4.1	～	R4.3.31	4年	
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		R4.4.1	～	R8.3.31	4年	28,109,000

2 施設の概要

所在地	南アルプス市有野3303-2
設置年月日	昭和47年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例
設置目的	知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。
主な業務の内容	(1)施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 ・生活介護、短期入所及び施設入所支援に係る業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:79,970㎡(児童寮を含む) ○建築延面積:3,236.11㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 ○施設の内容 ・成人一寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,312.60㎡ ・成人二寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,429.65㎡ ・療育棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 342.60㎡ ・管理棟及び車庫の一部 151.26㎡ ○各障害福祉サービス定員 ・生活介護:105人 ・短期入所:9人 ・施設入所支援:90人
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	446,510,055	459,724,091	460,107,080	459,107,989	491,842,762	
支出合計	453,411,794	426,808,420	417,045,880	446,313,706	457,394,607	
収支差額	△ 6,901,739	32,915,671	43,061,200	12,794,283	34,448,155	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	225人	205人	207人	197人	200人	
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

令和4年度から7年度までの4年間の指定管理期間も半ばに入った。成人寮と児童寮の一体的且つ効率的運営に努めてきた。当施設の利用者は、強度行動障害など重い障害を持った方が多く、高齢化も進んでいる。健康維持、安全安心、自律的生活においてきめ細かな配慮が必要である。

令和5年度も引き続き感染症対策に取組み、大きなクラスター発生は避けることができた。また、誤嚥対策として「摂食・嚥下チェック」を行い、状況の表示や、一人ひとりの状況に沿った支援に心がけた。さらに、身体機能の維持や精神的安定を図るために、乗馬療法、音楽療法、リハビリ等、行動障害を軽減する活動などを取り入れ、日常支援を行った。令和5年度は、「山梨県強度行動障害者支援強化事業」に参加し、コンサルテーションを受け、強度行動障害者支援の専門性の向上にも努めた。

年度末利用者数は、生活介護103名、施設入所支援90名、短期入所契約者7名であり、定員に対し96.2%の利用率であった。短期入所は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。

施設の維持・保全については、近隣住民の要望等にも配慮した環境整備や、利用者の生活環境の向上に努め、施設設備の補修等に取り組んだ。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、施設の維持管理や利用者へのサービスの提供を適切に行った。

本施設は、障害者入所施設であることから、施設内感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、引き続き職員や利用者への早期のワクチン接種をはじめ、感染拡大期には、職員に原則週1回のPCR検査を要請し、感染拡大防止を図った。その結果、利用者の健康や施設の運営等に大きな影響が生じるような感染拡大は防止することができた。

また、本施設の利用者の状況に合わせ、強度行動障害者支援の向上に積極的に取り組んだ。

また、前年度と同様に利用者満足度調査の結果、「満足・どちらかといえば満足」の割合が各項目平均で92%と、高い水準を維持しており、利用者の立場に立った支援を行っている。

重度障害者の特性に配慮し、健康面への配慮や環境の整備等に引き続き取り組んでいただきたい。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

感染症対策を継続し、利用者の健康管理に注意を払うとともに、強度行動障害等の重度障害者の特性に配慮した支援の提供に努めた。あわせて、高齢化が進む利用者の状況を踏まえて、一人ひとりの状況把握を丁寧に行い、高齢者特有の誤嚥や転倒による骨折等の対応にも取り組んだ。

また、利用者の意思を大切に、児童寮との一体的・効率的な運営に向けて、創意工夫のある施設運営を行った。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立育精福祉センター成人寮
 所管課 福祉保健部 障害福祉課
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	生活介護	108	104	105	102	103
	短期入所	26	12	11	5	7
	施設入所支援	91	89	91	90	90
	利用者数合計	225	205	207	197	200
	目標値	204	204	204	204	204
	実績/目標割合	110.3%	100.5%	101.5%	96.6%	98.0%
	目標値の設定方法	定員を目標値とする。				
	稼働率等(利用率)	110.3%	100.5%	101.5%	96.6%	98.0%
利用率	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/施設の利用定員				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家: 自立訓練(通所 20人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮: 生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム: 生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮: 生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)
----------	--

3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

県 冷温水発生機修繕工事 (児童寮でも利用)	2,024,000
管 設備等関連修繕	3,802,346
管 消防設備関連	409,200

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	日中一時支援事業	障害児・者	成人寮
2			
3			
4			
5			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	実施期間:令和6年1月15日～1月31日 調査方法:利用者へのアンケート 回答数:98人(2人入院中のため未実施)			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
相談・要望対応	51.0%	41.0%	7.0%	1.0%
プライバシー	62.0%	30.0%	7.0%	1.0%
食事	63.0%	30.0%	5.0%	2.0%
入浴・身だしなみ	66.0%	31.0%	3.0%	0.0%
健康管理	82.0%	14.0%	3.0%	1.0%
買い物・外出	36.0%	40.0%	20.0%	4.0%
居住	52.0%	42.0%	5.0%	1.0%
施設全般	50.0%	44.0%	6.0%	0.0%
施設の感想	50.0%	44.0%	6.0%	0.0%
施設全般の満足度	56.9%	35.1%	6.9%	1.1%
利用者の主な意見	<p>①面会や外泊をしたい。家族に会いたい。 ②外出や旅行・食事に行きたい。 ③(通所)玄関の淵(石)冷たく危ないので変えて欲しい。 ④(通所)トイレの便座が冷たいので変えて欲しい。 ⑤お湯がぬるい時がある。ボイラーの温度を上げて欲しい。 ⑥給食の味で甘くない物が甘い時があるので不満です。 ⑦小さいコーラを自動販売機に入れて欲しい。 ⑧自分の話を信じてくれる職員と信じてくれない職員がいる。 ⑨好きな人にバレンタインのチョコをあげたい。</p>			
利用者の意見への対応	<p>①面会や外泊は家族とのつながりにおいて大切なことです。感染状況の推移を見極めつつ、感染対策を養護者さんにも協力してもらいながら、外出からの再開を検討しています。 ②外出や旅行などの行事は、皆さんが社会に出ていくうえで、様々な学習が出来る機会となっています。近年、コロナ禍で外出が思うようにできていませんが、個別の外出の機会を増やせるよう内容を工夫していきます。 ③現場を確認しました。安全に利用できるよう、業者とも相談し検討します。 ④随時、変更していきます。 ⑤室温については、ボイラーの稼働時間が延長されていますが、寒い時等、職員に伝えてください。暖かく過ごせるよう対応します。また、湯温の調整については、R6・R7とボイラーの改修工事を行う方向で進めています。 ⑥給食関係のことは給食委員会で検討し、改善していきますので、給食委員に伝えておきます。 ⑦自動販売機は「いくせい会」の職員が担当していますので、要望を伝えておきます。 ⑧詳細を確認しました。信じていないわけではないようです。誤解に繋がらないように気を付けます。 ⑨実現できるよう、配慮します。</p>			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>利用者の安全、及び生活環境の向上を図るため、生活環境の点検に留意し、維持管理に当たった。令和5年度は、ボイラーの関連設備修繕・外灯照明など適宜実施した。また、災害に備え、火災通報装置の点検や修繕にも取り組んだ。</p> <p>機械・設備などの法定点検をはじめ、維持管理業務全般については業務仕様書などに基づき、きめ細かな業務の遂行に努めてきた。</p>	<p>業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。</p> <p>引き続き利用者の安全確保、利便性の向上に留意し、維持管理業務に努めること。また、建物や主な設備は設置から四半世紀が経過し、老朽化しているため、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合には、早急に対応すること。</p>
運営業務	<p>令和5年度においても感染症対策に留意しつつ、大規模な感染症等の発生は避けることができた。当施設の利用者は、重い知的障害や行動障害、発達障害等があり、さらに、近年は高齢化が進み、身体介護の必要度も上がっている。個々の状況やニーズに合わせ、必要な支援や活動(作業活動、余暇活動、音楽療法、乗馬療法、歩行、リハビリなど)を提供した。令和5年度については、山梨県強度行動障害者支援強化事業にも参加し、職員の専門性の向上や利用者の生活の質の向上に努めたが、職員確保が困難な状況であることが課題となっている。</p>	<p>事業計画書に基づき適正に運営されている。引き続き、利用者個々の障害特性に配慮し、意思決定支援に基づくサービスの提供に努めること。</p> <p>また、強度行動障害者支援については、県の強化事業に参加し、特に積極的に取り組んでいる。今後も職員の専門性の向上に努めること。</p> <p>職員確保については、様々な機会を活用して創意工夫し、支援体制の維持・向上に当たること。</p>
利用状況	<p>利用者数は、生活介護103名、施設入所支援90名、短期入所7名であり、稼働率は、98.0%(前年度96.6%)となった。</p> <p>短期入所においては、感染症の対策を取りつつ、令和4年度においては利用延92日であったが、令和5年度においては、利用延429日の利用があり、短期利用の希望も多くある為、受け入れている。</p>	<p>利用率は従前から高い水準となっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となったこともあり、短期入所利用者数も回復傾向にある。</p> <p>引き続き感染症対策に留意し、質の高いサービスの提供に努め、今後も利用者数を拡大・維持されたい。</p>
収支状況	<p>収入は、生活介護や施設入所支援においては新型コロナウイルス感染症のため帰宅者数が減り、前年度と同程度ではあるが、年度後半に施設入所は90人の満定員となり増益となっている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となったことも影響したためか、前年度と比較し収支差額が増収になっている。</p> <p>引き続き児童寮と連携し、効率的な運営により、支出の削減を図りつつ、利用者支援及び職員処遇の向上に資すること。</p> <p>また、施設の修繕等は、県と協議しながら計画的に実施していくこと。</p>
自主事業	<p>自主事業としては、地域の障害者支援への貢献という面から、市町村の委託事業として日中一時支援事業に取り組んだ。</p>	<p>育精福祉センターの機能を地域の障害児・者に有効に利用していただくよう、感染症対策に留意しながら可能な限り日中一時支援の受入れに努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

<p>利用者満足度</p>	<p>利用者満足度調査は、個人の記入又は職員の対面での聞き取りにより実施した。施設全般の満足度は、「満足・どちらかと言えば満足」との回答が92%であった。</p> <p>障害の特性から、意思表示がうまくできない方が多く、利用者の思いや、意向、要望を汲み取り、一人ひとりのニーズを大切に受け止めた支援に心がけた。</p>	<p>満足度調査の結果から、施設全体の満足度は昨年度に引き続き高い。</p> <p>一方で、「買い物・外出」については、「不満」、「どちらかと言えば不満」の割合が昨年度から横ばいの状況であるが、コロナ禍の中で制限されてきたものについては、今後の感染状況の推移を見ながら、改善を図っていくこと。</p>
---------------	---	--

9 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>施設利用者の満足度向上のための取組み</p>	<p>利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を評価指標として、目標値を80%と設定。</p> <p>ケース会議や職員会議等における調査結果の共有や利用者への丁寧な説明等を行い、「満足・どちらかといえば満足」の割合が92%となって、目標を達成した。</p>	<p>設問の回答中、「買い物・外出」の満足度が最も低い(76%)が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあったと推測される。</p> <p>今後も満足度調査結果の分析や、職員による検討会を行う等、引き続き利用者の要望に可能な限り対応されたい。</p>
<p>感染症対策</p>	<p>本施設は入所施設であることから、施設内に感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、職員や利用者にはワクチン接種をはじめとする感染予防対策に留意することや、感染の拡大する時期には、原則として職員に週1回のPCR検査を行うよう県から要請した。</p> <p>検体の提出日における提出割合を評価指標とし、目標値を100に設定。</p> <p>結果、提出の割合は100となり、クラスターも発生しなかった。</p>	<p>引き続き感染症対策を実施していただくとともに、感染者が発生した場合の対応内容について、確認しておくこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

